

# 第143回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年2月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前 月 比	世 帯 数	前年同月比	前 月 比
中 心 部	10,077	-0.49	-0.26	4,081	0.51	-0.26
東 部 地 区	14,258	-0.85	-0.04	5,528	0.38	-0.09
西 部 地 区	10,816	0.25	0.26	3,970	2.37	0.17
駅 南 地 区	6,428	0.78	0.00	2,641	2.52	0.18
半 田 地 区	3,561	1.39	0.00	1,298	2.85	0.15
横 山 地 区	5,685	-0.15	-0.01	1,849	0.76	0.00
茨 目 ・ 田 尻 地 区	6,889	-1.38	-0.20	2,288	-1.76	-0.34
荒 浜 地 区	5,220	-1.15	-0.21	2,015	0.34	-0.04
そ の 他 地 区	21,558	-1.91	-0.17	7,183	-0.82	-0.08
西 山 町 地 区	6,507	-1.84	-0.44	2,154	-0.46	-0.32
高 柳 町 地 区	2,040	-4.62	-0.53	850	-1.39	-0.11
柏 崎 市 計	93,039	-0.90	-0.11	33,857	0.39	-0.07
刈 羽 村	4,987	-0.45	0.30	1,523	0.92	0.39
小 国 地 区（長岡市）	6,594	-1.25	-0.07	2,153	0.32	0.09
出 雲 崎 町	5,361	-1.01	0.09	1,833	0.65	0.38
合 計	109,981	-0.91	-0.08	39,366	0.42	-0.02

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市が854人、0.90%、刈羽村が23人、0.45%、小国地区（長岡市）が84人、1.25%、出雲崎町が55人、1.01%とそれぞれ減少し、全体では1,016人、0.91%の減少となった。

また、前月比においては、刈羽村が15人、0.30%、出雲崎町が5人、0.09%と増加したものの、柏崎市で108人、0.11%、小国町で5人、0.07%と減少したことから、全体では93人、0.08%の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比で柏崎市が133世帯、0.39%、刈羽村が14世帯、0.92%、小国町が7世帯、0.32%、出雲崎町が12世帯、0.65%と全て増加し、全体では166世帯、0.42%と増加している。

また、前月比においては、刈羽村が6世帯、0.39%、小国町が2世帯、0.09%、出雲崎町が7世帯、0.38%と増加したが、柏崎市で25世帯、0.07%と減少した結果、全体では10世帯、0.02%の減少となった。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前 月 比	
			柏 崎	県	柏 崎	県
月 間 有 効 求 人	1,301		-1.43		-5.65	
月 間 有 効 求 職 者	1,000		-17.21		1.93	
月 間 有 効 求 人 倍 率	1.30	0.87	0.21*	-0.14*	-0.11*	-0.03*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,301人と前年同月比で19人、1.43%の減少、前月比でも78人、5.65%と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,000人と前年同月比で208人、17.21%と大幅に減少したが、前月比では19人、1.93%の増加となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.30倍と前年同月比で0.21ポイント上回り、前月比では0.11ポイント下回ったが、県平均0.87倍に対しては0.43ポイントと大幅に上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が468人と前年同月比で23人、4.68%の減少、月間新規求職者数は312人と前年同月比で53人、14.52%と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は1.50倍と前月の1.51倍を0.01ポイント下回ったが、前年同月の1.35倍に対しては0.15ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年2月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 ( 併 用 )	94	53	24	585	225
共 同 住 宅	0	0	-1	12	-1
事 務 所	3	2	2	12	5
作 業 所 ・ 工 場	3	1	-1	26	1
営 業 建 物	1	1	0	21	-2
公 共 建 物	1	1	1	2	-6
そ の 他	10	5	6	104	-3
合 計	112	63	31	762	219

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、「中越沖地震」からの本格的な復旧により、申請合計が112件と前年同月比で63件、前月比で31件と大幅に増加している。工種別内訳の主な増減を見ると、一般住宅（併用）において前年同月比で53件、前月比で24件と大幅な増加になっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が37件、増築が41件、改築が34件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が49件（うち新築11件、増築23件、改築15件）、市外施工業者が45件（うち新築15件、増築11件、改築19件）となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,707	1.73	0.26	24,489	15.99	-13.09
電 力	11,889	-5.25	-0.13	49,447	4.23	5.62

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で1,118口、1.73%の増加、前月比でも171口、0.26%の増加となった。一方、電力では前年同月比で659口、5.25%の減少、前月比でも16口、0.13%と減少している。

使用量では、電灯が前年同月比で3,376千kwh、15.99%と大幅な増加となったが、前月比では3,689千kwh、13.09%と大幅に減少している。一方、電力においては前年同月比で2,010千kwh、4.23%の増加、前月比でも2,633千kwh、5.62%の増加となっている。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,962,192	-2.92	8.04	679,055	-4.40	-2.30
営 業 用	357,467	13.33	7.43	112,086	-5.49	-8.50
工 場 用	834,712	57.86	7.20	136,180	-8.82	2.73
官 公 学 校 用	738,859	12.58	4.63	76,220	-3.51	-1.05
そ の 他				1	-99.19	-99.33
合 計	3,893,230	10.55	7.14	1,003,542	-5.09	-2.31

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途全体では前年同月比で371,575m<sup>3</sup>、10.55%の増加、前月比でも259,690m<sup>3</sup>、7.14%の増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比で家庭用を除く全ての用途で大幅に増加し、前月比では全ての用途で増加している。

一方、水道給水量は前年同月比で53,890m<sup>3</sup>、5.09%の減少、前月比でも23,764m<sup>3</sup>、2.31%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では全ての用途で減少しており、前月比では工場用を除いた全ての用途で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	69,157	13.30	0.66	72,997	13.10	1.72
西 山	39,287	21.78	0.84	35,789	26.12	2.47
米 山	16,163	0.00	-2.47	15,652	5.80	-0.48
合 計	124,607	13.84	0.30	124,438	15.53	1.65

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で15,149台、13.84%と大幅に増加し、前月比では376台、0.30%と微増になっている。

一方、出口においても、全体では前年同月比で16,733台、15.53%の大幅な増加、前月比では2,027台、1.65%の増加となった。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では入口・出口ともに西山インターが大幅に増加しており、前月比においては米山インターのみが僅かではあるが減少している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	346,709	5.56	0.21	152,844	8.88	2.14
平 残	345,709	6.34	-0.12	149,439	8.35	4.27

預金は、末残が前年同月比で18,284百万円、5.56%の増加、前月比でも742百万円、0.21%の増加となっている。また、平残においては前年同月比で20,631百万円、6.34%の増加となったが、前月比では420百万円、0.12%の減少となっている。

一方、貸出金においては、末残が前年同月比で12,478百万円、8.88%の増加、前月比でも3,208百万円、2.14%の増加となり、平残も前年同月比で11,519百万円、8.35%の増加、前月比でも6,124百万円、4.27%と増加し、引き続き堅調な推移を示している。

## 8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,212	-6.25	-12.30
交 換 金 額	3,997	-14.62	-19.48
不 渡 り 手 形 枚 数	0	0.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	0.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で348枚、6.25%の減少、前月比でも731枚、12.30%と減少している。また、交換金額においても前年同月比で685百万円、14.62%の減少、前月比でも968百万円、19.48%の減少となっている。なお、不渡手形は引き続き発生していない。

2月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は3件（前年同月4件、前月5件）、負債総額29億円（同34億円、同177億円）、1件当たりの負債額9億円（同8億円、同35億円）となった。

地区別では下越地区で3件（新潟市1件、阿賀野市2）、中越地区と上越地区では発生していない。業種別は建設業1件、製造業1件、販売業1件で、倒産原因別の状況は販売不振3件となっている。

当月の企業倒産は3件、負債総額で29億円と前年同月比では件数で1件減少し、負債総額では5億円の減少となっている。

県内企業の景気状況は、素材価格の高騰や円高の進展などから厳しい収益環境となっている。倒産状況においても、企業体力の乏しい中小零細企業の資金繰りの悪化が原因となっており、今後も幅広い業種で仕入価格等の高騰から収益が低迷することが予想され、依然として倒産件数は高水準で推移していく懸念が窺える。